

環境法〈B29A〉

配当年次	3・4年次
授業科目単位数	4
科目試験出題者	小賀野 晶一
文責(課題設題者)	小賀野 晶一
教科書	指定 小賀野 晶一 『基本講義 環境問題・環境法』[第2版]以降(成文堂)

* 2021年度より教科書変更

《授業の目的・到達目標》

環境法は、環境問題の解明(環境保全、環境汚染等の未然防止、環境紛争の予防、被害の救済など)を主たる目的とする法学分野であり、環境立法、環境訴訟、環境法理論、環境法実務、環境政策などを主たる内容としています。

授業では、環境立法、環境訴訟、環境法理論、環境法実務、環境政策などについて学習し、環境問題に関する規範及び規範論を修得することを到達目標とします。

《授業の概要》

以下の各分野について、検討します。

(1) 総論

公害問題、環境問題

環境基本法、環境基本計画

環境影響評価の法制度

紛争処理、被害者救済、費用負担の各法制度

(2) 各論

大気汚染と法

水質汚濁と法

土壌汚染と法

廃棄物と法

リサイクルと法

自然保護と法

地球環境問題と法

(3) 環境訴訟と環境法理論

《学習指導》

(1) 本授業では、六法として、憲法、民法、行政事件訴訟法の各法律のほか、以下の法律を参照します。

環境基本法、環境影響評価法、大気汚染防止法、水質汚濁防止法、土壌汚染対策法、循環型社会形成推進基本法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律、自然公園法、地球温暖化対策の推進に関する法律。

(2) 環境問題に対する法的アプローチの方法や内容は、民法、行政法などの知識や技術を基礎にしてい

ます。環境法の受講生はこれらの法にも関心をもつことが必要です。

- (3) 主要な裁判例については、結論だけでなく、全文を丁寧に読んで理解してください。
- (4) 環境法の理論や環境政策に関心をもってください。
- (5) 何よりもまず重要なこととして、過去、現在の環境問題、将来出現することが予想される環境問題に関心をもつことです。日本国内の環境問題や、広くアジア・太平洋諸国・地域、ヨーロッパ諸国・地域などの環境問題について関心をもち、環境問題の解決のために従来どのようなことが行われてきたか、今後どのようなことを必要としているかを考えてください。

《成績評価》

試験（科目試験またはスクーリング試験）により最終評価する。

環境法〈B29A〉【新版教科書】

- ◎課題文の記入：不要（課題記入欄に「課題文不要のため省略しました。」と記入すること）
- ◎字数制限：1 課題あたり 2,000 字程度（作成基準のとおり）

第1 課題【基礎的な問題】

わが国のリサイクル法制度はどのようなになっているか。リサイクル法制度の概要、法制度の基本的な考え方、法制度の課題について述べなさい。

第2 課題【基礎的な問題】

四大公害訴訟各判決の特徴をそれぞれ簡潔に要約し、環境法において四大公害訴訟が有する意義について述べなさい。

第3 課題【応用的な問題】

環境法で導入されている汚染者負担原則(PPP)とはどのようなものか。具体例を挙げて説明しなさい。

第4 課題【応用的な問題】

地球温暖化対策に関する「パリ協定」とはどのようなものか。その意義、内容及び課題について検討しなさい。

〈推薦図書〉

大塚 直	『環境法』〔第4版〕(2020年)	有斐閣
北村 喜宣	『環境法』〔第5版〕(2020年)	弘文堂
小賀野 晶一	『環境問題・環境法』〔第2版〕(2021年)	成文堂
人間環境問題研究会(編)	『最近の重要環境判例 環境法研究 第45号』(2020年)	有斐閣
大塚 直・北村 喜宣(編)	『環境法判例百選』〔第3版〕(2018年)	有斐閣

環境法〈B29A〉【旧版教科書】

- ◎課題文の記入：不要（課題記入欄に「課題文不要のため省略しました。」と記入すること）
- ◎字数制限：1 課題あたり 2,000 字程度（作成基準のとおり）

第1 課題【基礎的な問題】

四大公害訴訟の1 つ、四日市大気汚染訴訟はどのような訴訟か。訴訟の特徴、判決の概要を述べ、この訴訟が環境法において有する意義について、そこで示された法理論にも言及して検討しなさい。

第2 課題【基礎的な問題】

四大公害訴訟の1 つ、イタイイタイ病訴訟はどのような訴訟か。訴訟の特徴、判決の概要を述べ、この訴訟が環境法において有する意義について、そこで示された法理論にも言及して検討しなさい。

第3 課題【応用的な問題】

環境訴訟において「自然の権利訴訟」と称される訴訟があるが、この訴訟はどのような訴訟か。この訴訟が環境法において有する意義を具体的に述べなさい。

第4 課題【応用的な問題】

四大公害訴訟各判決後に現れた東海道新幹線訴訟・判決、国道43号線訴訟・判決はそれぞれどのような訴訟・判決か。四大公害訴訟・判決と共通するところと違うところを指摘し、それらの訴訟・判決の特徴を述べなさい。

〈推薦図書〉

松村 弓彦・柳 憲一郎 他	『ロースクール環境法』〔第2版〕（2010年）	成文堂
北村 喜宣	『環境法』〔第4版〕（2017年）	弘文堂
大塚 直	『環境法』〔第3版〕（2020年）	有斐閣
人間環境問題研究会（編）	『環境権論の展開 環境法研究 第44号』（2019年）	有斐閣